

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修

※対面（集合型）

研修名	英語授業における様々な学び方と支援の在り方				
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応		プログラム指標（しまだい）	子ども支援 授業デザイン	
キャリアステージ	自立・向上期（ 1～10 年目）	○	研修レベル	基礎（学部 1・2 年レベル）	
	探究・発展期（10～20 年目）	○		応用（学部 3・4 年レベル）	
	充実・円熟期（20 年目以降）	○		発展（大学院レベル）	○
開設日	令和 7 年 8 月 2 2 日（金）		時間数	6 時間	受講定員 20 名
会場（対面）	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）		所在地	島根県松江市大輪町 416-4	
授業形態	講義、ワークショップ		対象校種	全校種	
実施方法	対面（集合型）		対象教科	外国語（対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含みます。）	
			対象職種	広く学校教育関係者、教諭	
担当講師	おおたに 大谷 みどり（島根大学教職大学院 特任教授）				
研修内容	母語ではない言語を学ぶことに、他の教科にはない「楽しさ」を感じる子どももいれば、困難さを抱える子どももいます。社会のグローバル化・多様化が進み、小中高を通して一層、言語活動の充実・発信力も求められる中、授業の中で子どもたちの困難さをどのように見取り、どのような工夫・支援を行えばよいでしょうか。その背景や事例を紹介しながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。				
日 程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時 間	内 容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	8：40～ 9：00	受付			
	9：00～ 9：10	オリエンテーション			
	9：10～10：30	オンデマンド動画の振り返り①(学びの困難性の背景, 日本語と英語の違い)			
	10：30～12：00	オンデマンド動画の振り返り②（英語授業における支援例）			
	13：00～14：30	子どもたちの躰きと具体的な支援の在り方を考える①（グループワーク）			
	14：30～16：00	子どもたちの躰きと具体的な支援の在り方を考える②（グループ発表）			
	16：00～16：15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時			
研修に関して各自準備するもの	・ 特になし				
事前課題	・ 特になし				

その他	・ 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 ・ 本研修を受講される方は、必ずオンデマンド研修「英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える（理論編）」（4時間）を受講してください。（オンデマンド研修 [理論編]の受講が終わっている方が対象です。） ・ 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 m.otani@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 ・ 当日の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。
------------	---